

# 医療行動科学 1 : 601-1-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
1年次	通年	平塚 浩一 (生化学・分子生物学)

学修目標 (GIO) と単位数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単位数：2単位</li> <li>・学修目標 (GIO)：歯科医師としてあるべき姿と社会的責任の重みを知ると共に卒業後に多彩な選択肢があることを学び、将来の歯科医師としての自覚を醸成する。</li> </ul>
担当教員	平塚 浩一、*福本 雅彦、*内田 貴之、*下坂 典立、*卯田 昭夫、*北川 剛至、中山 光子、*石井 良昌、*鈴木 浩司、*野本 たかと、*深津 晶、岡田 優一郎、*山口 秀紀、*渋谷 鑛、鈴木 英明、北原 信也、増山 ゆかり、*有川 量崇、*伊藤 龍朗、*辻 典明、*鈴木 正敏、福田 えり、戸邊 玖美子、*辻 理子、*竹森 真実、*古賀 悠太、*鈴木 到、渡邊 徳明、楠瀬 隆生、中島 基樹、小倉 昭弘、*布施 恵、堀畑 聡、田口 千恵子、笠原 清弘、長島 輝明、竹内 麗理、*古賀 裕将、*田中 晃伸
教科書	特になし
評価方法 (EV)	前後期の平常試験の平均 (80%) と、レポートなどの課題結果 (10%)、受講態度 (10%) をもって総合評価 (最終評価) とする。 平常試験の結果に応じて再試験等の措置を講じることがある。 授業および実習それぞれに対して4/5を超えた出席を必要とする。かりに授業または実習を1/5以上欠席した者は、授業の平常試験または実習 (実技) 試験のそれぞれの再試験受験資格を喪失する。 実習を欠席した場合、追実習は行わない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	学外からの講師を招いての講義が多いため、質問等は講義終了後が確実である。 レポート課題が課された場合は、必ず提出すること。 病院内見学など医療従事者としての第一歩を踏み出すことから、万人が認める頭髪、身なり、服装、言動をとること。守れない場合は病院内見学を認めない。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/15 (水) 1時限 09:30~11:00 A	オリエンテーション/学びは日々鍛錬から	<p>【授業の一般目標】 日本大学松戸歯学部で歯科医師を目指すため松戸歯学部の教育方針を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療を専門とする職業人の理念を説明できる。 3. 信頼できる社会人、医療人について説明できる。 4. 歯科医師の責務を説明できる。 5. 日本大学並びに松戸歯学部の歴史を概説できる。 6. 松戸歯学部のアドミッションポリシーが説明できる。 7. 松戸歯学部のカリキュラムポリシーが説明できる。 8. 松戸歯学部のデプロマポリシーが説明できる。 9. 日々鍛錬の使い方を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：松戸歯学部HPを閲覧する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 205教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 ④歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任 (刑事責任、民事責任、歯科医師法に基づく行政処分) を説明できる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p>	*福本 雅彦
2026/04/22 (水) 1時限 09:30~11:00 A	社会人マナー、松戸警察講演	<p>【授業の一般目標】 プロフェッションとしての歯科医師を目指した歯科学生になるため、社会人としてのマナーを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 社会人としてのマナーを説明できる。 2. 歯科医学生に対する世間の評価について説明できる。 3. 脱法ドラッグの危険性について説明できる。 4. SNSを利用した特殊詐欺について説明できる。</p>	平塚 浩一 *卯田 昭夫 *下坂 典立
2026/04/22 (水) 1時限 09:30~11:00 B			

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/22 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/04/22 (水) 1時限 09:30～11:00 B	社会人マナー、松戸警察講演	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：脱法ドラッグについてネット等で調べ自修する。</li> <li>・準備学修時間：30分</li> <li>・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。</li> <li>・事後学修時間：30分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無し。 学修媒体：スライド、講義内容プリントなどの配布資料。</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>205教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム</p> <p>ア 医の倫理</p> <p>ｂ 医療者の倫理（ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など）</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力</p> <p>A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p>	平塚 浩一 *卯田 昭夫 *下坂 典立
2026/04/30 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/04/30 (木) 1時限 09:30～11:00 B	歯科医療最前線 (顎変形症)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>顎変形症の外科的矯正術について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</li> <li>2. 顎変形症について説明することができる。</li> <li>3. 外科的矯正術の適応について説明することができる。</li> <li>4. 手術法について説明することができる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：自身で顎変形症について調べ学修する。</li> <li>・準備学修時間：30分。</li> <li>・事後学修項目：配布資料、講義ノート。</li> <li>・事後学修時間：60分。</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし。 学修媒体：配布資料、講義ノート。</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>205教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論</p> <p>各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患</p> <p>2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療</p> <p>イ 顎顔面骨の変形に対する治療</p> <p>a 顎矯正手術</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患</p> <p>E-2-4) - (11) 口腔・顎顔面領域の機能障害</p> <p>①咬合異常による障害と咀嚼障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。</p>	平塚 浩一 *下坂 典立 *卯田 昭夫
2026/05/13 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/05/13 (水) 1時限 09:30～11:00 B	歯科医療最前線 (インプラント)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医療における口腔インプラントの治療の歴史、役割、今後の展望について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口腔インプラント治療とはどのようなものか説明出来る。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：口腔インプラント治療について調べておくこと</li> <li>・準備学修時間：30分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングなし</p> <p>プリント配布，マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>205教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論</p> <p>各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害</p>	*北川 剛至

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/13 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/05/13 (水) 1時限 09:30～11:00 B	歯科医療最前線 (インプラント)	6 インプラント義歯による治療 ア インプラント治療の基礎と成績 a オッセオインテグレーションの獲得  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (3) 口腔インプラント ①口腔インプラントの種類、特徴、目的及び意義を説明できる。	*北川 剛至
2026/05/20 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/05/20 (水) 1時限 09:30～11:00 B	アスリートのパフォーマンスを口腔から支える	【授業の一般目標】 スポーツ愛好家からトップアスリートの要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、スポーツ歯科や睡眠健康科学の知識、態度を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. スポーツ選手に対する歯科的対応を説明できる  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スポーツ歯科や睡眠歯科について  ・準備学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 参考図書：事前学修 参考図書：要説スポーツ歯学・睡眠歯科学  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 205教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 7 特殊な装置による治療 イ 口腔内装置  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 ①外傷の種類、特徴及び治療過程を説明できる。 ⑤軟組織損傷の種類、症状及び処置法を説明できる。 E-6 医師と連携するために必要な医学的知識 ①全身の症候・病態を説明できる。 ②医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。	*鈴木 浩司
2026/05/27 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/05/27 (水) 1時限 09:30～11:00 B	歯科医療とフレイル①	【授業の一般目標】 歯科医療がフレイルの発症予防および進行抑制に果たす役割を理解し、口腔機能・栄養・全身状態を統合的に評価したうえで、多職種と連携した歯科的介入の意義を説明できる能力を養う。  【行動目標 (SBOs)】 1. フレイルの概念と分類を理解し、歯科医療との関連を説明できる。 2. オーラルフレイルおよび口腔機能低下症の臨床的意義を理解する。 3. 口腔機能・栄養・全身機能を関連づけて考察できる。 4. フレイル高齢者に対する歯科医療の役割を多職種連携の視点で説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：フレイルについて自身で調べ、学修する。  ・準備学修時間： 45分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし。 学修媒体：配布資料、歯科医師国家試験過去問題。  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 205教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 1 疾患・病態 オ フレイル  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-6 医師と連携するために必要な医学的知識 ①全身の症候・病態を説明できる。	*石井 良昌
2026/06/03 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/06/03 (水) 1時限	歯科医療とフレイル②	【授業の一般目標】 歯科医療がフレイルの発症予防および進行抑制に果たす役割を理解し、口腔機能・栄養・全身状態を統合的に評価したうえで、多職種と連携した歯科的介入の意義を説明できる能力を養う。  【行動目標 (SBOs)】	*石井 良昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
09:30～11:00 B	歯科医療とフレイル②	<p>1. フレイルの概念と分類を理解し、歯科医療との関連を説明できる。 2. オーラルフレイルおよび口腔機能低下症の臨床的意義を理解する。 3. 口腔機能・栄養・全身機能を関連づけて考察できる。 4. フレイル高齢者に対する歯科医療の役割を多職種連携の視点で説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：フレイルについて自身で調べ、学修する。 ・準備学修時間： 45分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし。 学修媒体：配布資料、歯科医師国家試験過去問題。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 205教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 1 疾患・病態 オ フレイル</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-6 医師と連携するために必要な医学的知識 ①全身の症候・病態を説明できる。</p>	*石井 良昌
2026/06/10（水） 1時限 09:30～11:00 A 2026/06/10（水） 1時限 09:30～11:00 B	障害者の歯科治療	<p>【授業の一般目標】 歯科医療における障害者の歯科治療の位置づけと役割を学び、理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容について教授する。 2. 歯科医療における障害者の歯科治療の位置づけを説明できる。 3. 歯科医療における障害者の歯科治療の役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：障害者の歯科治療について調べておくこと。 ・準備学修時間： 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 プリント・マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 205教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 8 障害者の歯科治療 ア 基本的対応 a 一般的対応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-2) 障害者の歯科治療 ①障害者の身体的、精神的及び心理的特徴を説明できる。</p>	*野本 たかと *下坂 典立
2026/06/17（水） 1時限 09:30～11:00 A 2026/06/17（水） 1時限 09:30～11:00 B	病院長から皆さんへ	<p>【授業の一般目標】 歯科診療、医科診療見学の前に、歯科学生としての心構え、マナー、身なりなどについて理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 医療従事者になる者としての心構えを説明することができる。 3. 医療従事者のマナーを説明することができる。 4. 歯科学生、医療従事者の身なり、振る舞いについて説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：普遍的なマナー、医療従事者のマナーについて学修する。 ・準備学修時間： 30分。 ・事後学修項目：配信資料、講義ノート。 ・事後学修時間： 60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし。 学修媒体：パワーポイント、Google Calendarにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体の配布は行いません。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	*内田 貴之 *下坂 典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/17 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/06/17 (水) 1時限 09:30～11:00 B	病院長から皆さんへ	205教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ チーム医療 a チーム医療の意義（多職種連携、医科歯科連携、病診連携を含む）  【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。	*内田 貴之 *下坂 典立
2026/06/24 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/06/24 (水) 1時限 09:30～11:00 B	歯科学生としての救急蘇生法について	【授業の一般目標】 歯科学生として根拠に基づいた救急蘇生法について理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 救急蘇生法について説明することができる。 3. 気道確保の重要性について説明することができる。 4. 胸骨圧迫の重要性について説明することができる。 5. 歯科診療に対するストレスについて説明することができる。 6. 精神鎮静法について説明することができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：救急蘇生法について学修する。 準備学修時間：45分 事後学修項目：配布プリント、講義ノート。 事後学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし。 学修媒体：配布プリント、講義ノート。  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 205教室  【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 初期救急 イ 救急処置 a 一次救命処置（BLS）  【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。	*下坂 典立
2026/07/01 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/07/01 (水) 1時限 09:30～11:00 B	馬橋消防署講演	【授業の一般目標】 官公庁と歯科の連携について理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 以下の内容について教授する。 2. 消防法について理解する。 3. 消防の業務について理解する。 4. 消防と歯科診療室、歯科病院の連携について理解する。  【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：消防についてインターネット等で学修する。 準備学修時間：30分。 事後学修時間：講義ノートを参考に学修する。 事後学修時間：60分。  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし。 学修媒体：配布プリント、講義ノート、メモ。  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 205教室  【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ チーム医療 a チーム医療の意義（多職種連携、医科歯科連携、病診連携を含む）  【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ②医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。	平塚 浩一 *野本 たかと *下坂 典立
2026/07/08 (水) 1時限 09:30～11:00 A	歯科医療を支えるチーム（コメディカル）①（看護師、歯科衛	【授業の一般目標】 患者中心の医療を行うために、コメディカル、コデンタルとの連携について理解する。	平塚 浩一 *卯田 昭夫 *下坂 典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/07/08 (水) 1時限 09:30～11:00 B	生士、薬剤師)	<p><b>【行動目標 (SBOs)】</b> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 看護師の業務内容について説明することができる。 3. 歯科衛生士の業務内容について説明することができる。 4. 薬剤師の業務内容について説明することができる。 5. 患者中心のチーム医療の意義について説明することができる。 6. 医療連携について説明することができる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b> ・準備学修項目：チーム医療について学修する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配付資料、講義ノート。 ・事後学修時間：45分。</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b> アクティブラーニング：無し。 学修媒体：スライド、講義内容プリントなどの配布資料。</p> <p><b>【学修方略 (LS)】</b> 講義</p> <p><b>【場所 (教室/実習室)】</b> 205教室</p> <p><b>【国家試験出題基準 (主)】</b> 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ チーム医療 a チーム医療の意義 (多職種連携、医科歯科連携、病診連携を含む)</p> <p><b>【コアカリキュラム】</b> A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。 ②医療チームや各構成員 (歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職) の役割分担と連携・責任体制を説明できる。 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。</p>	平塚 浩一 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立
2026/07/15 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/07/15 (水) 1時限 09:30～11:00 B	歯科医療を支える チーム (コメディカル) ② (臨床検査技師、 放射線技師、歯科 技工士)	<p><b>【授業の一般目標】</b> 患者中心の医療を行うために、コメディカル、コデンタルとの連携について理解する。</p> <p><b>【行動目標 (SBOs)】</b> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 臨床検査技師の業務内容について説明することができる。 3. 放射線技師の業務内容について説明することができる。 4. 歯科技工士の業務内容について説明することができる。 5. 患者中心のチーム医療の意義について説明することができる。 6. 医療連携について説明することができる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b> ・準備学修項目：チーム医療について学修する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b> アクティブラーニング：なし。 学修媒体：配付資料、講義ノート。</p> <p><b>【学修方略 (LS)】</b> 講義</p> <p><b>【場所 (教室/実習室)】</b> 205教室</p> <p><b>【国家試験出題基準 (主)】</b> 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ チーム医療 b 医療チームの構成員と役割</p> <p><b>【コアカリキュラム】</b> A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。 ②医療チームや各構成員 (歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職) の役割分担と連携・責任体制を説明できる。 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。</p>	平塚 浩一 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立
2026/07/22 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/07/22 (水) 1時限 09:30～11:00 B	病院見学	<p><b>【授業の一般目標】</b> 実際の歯科診療、医科診療を見学し、歯科医師、医師の業務だけでなくコデンタル、コメディカルの業務についても理解する。</p> <p><b>【行動目標 (SBOs)】</b> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科診療の実際に触れる。 3. 以下診療の実際に触れる。 4. 歯科衛生士、補助人員の業務について触れる。 5. 看護師、看護助手の業務について触れる。 6. 医療従事者になる者としてのマナー、身なり等について理解する。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b> 準備学修項目：歯学部学生としての服装、身なり、態度について学修する。</p>	* 内田 貴之 * 深津 晶 * 下坂 典立 * 卯田 昭夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/07/22 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/07/22 (水) 1時限 09:30～11:00 B	病院見学	<p>準備学習時間：30分 事後学習時間：メモ、感じたことについて学修する。 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし。</p> <p>見学に当たっては、身なりに十分気を払うこと。 院内に入るにあたっては、必ず清潔な白衣で見学に臨むとともに、靴は革靴ではなくスニーカーを履くこと。 なお茶髪、ピアス、ネイルアート、ブレスレットなどの装飾品および男子学生の長髪、髭は全て禁止とする。 また当日は香水などの匂いのするものは付けてこないこと。 病院内は一般の患者さんがいるため、患者さんが不快に思うことがないように身なりには十分気を付けるとともに、病院内での私語は禁止します。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 205教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ チーム医療 a チーム医療の意義（多職種連携、医科歯科連携、病診連携を含む）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。</p>	<p>*内田 貴之 *深津 晶 *下坂 典立 *卯田 昭夫</p>
2026/08/19 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/08/19 (水) 1時限 09:30～11:00 B	平常試験1および解説講義	<p>【授業の一般目標】 これまでの講義、見学、実習内容を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. これまでの講義、見学、実習内容について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：今までの講義、見学、実習内容を学修する。 ・事前学修時間：3時間 ・事後学修項目：試験問題に対する解答を完成させる。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし。 学修媒体：問題用紙。</p> <p>【学修方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 205教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 治療の基礎・基本手技 シ 口腔機能のリハビリテーション a 咀嚼機能、摂食嚥下機能、発話機能</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ②医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。</p>	<p>平塚 浩一 *卯田 昭夫 *下坂 典立 *鈴木 正敏 *辻 理子 *古賀 悠太 戸邊 玖美子 福田 えり</p>
2026/09/09 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/09/09 (水) 1時限 09:30～11:00 B	歯科医学教育と生涯学習	<p>【授業の一般目標】 歯科医療を行うために歯科医学教育の重要性を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科医療に対する歯科医学教育の重要性について述べるができる。 3. 歯科医療のための生涯教育の必要性について述べるができる。 4. 歯科医学教育課程におけるCBTおよび国家試験の位置づけについて述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：シラバスおよび歯科医学教育に関する情報を学修。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：歯科医学教育に関して、講義内容を再確認する。 ・事後学修時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし。 学修媒体：配付資料、講義ノート。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 205教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	<p>岡田 優一郎 *卯田 昭夫 *下坂 典立</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/09 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/09/09 (水) 1時限 09:30～11:00 B	歯科医学教育と生涯学習	必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文・科学・芸術・時事問題などに関連する一般教養的知識や考え方  【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	岡田 優一郎 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立
2026/09/16 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/09/16 (水) 1時限 09:30～11:00 B	歯科医学・歯科医療に貢献した人々	【授業の一般目標】 歯科医学・歯科医療黎明期の人物像について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. イーストレーキ、パーキンス、エリオットの人物像について学ぶ。 2. 小幡英之助、伊澤道盛、伊澤信平、一井正典の人物像について学ぶ。 3. 高橋孝子、高山紀斎、中原市五郎、血脇守之助、島峰 徹の人物像について学ぶ。 4. 佐藤運雄、鈴木 勝の人物像について学ぶ。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書「スタンダード歯科医学史」の人名索引から行動目標に記載された人物を検索し、その項目を熟読すること。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。 ・事後学修時間：20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし。 学修媒体：配付資料、講義ノート。  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 205教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 ア 医学史、歯科医学史  【コアカリキュラム】	* 渋谷 鏡 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立
2026/09/30 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/09/30 (水) 1時限 09:30～11:00 B	医療と社会の関わり/行政の取り組み	【授業の一般目標】 医療人として求められる社会的役割と責任を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 地域包括ケアシステムの概念について説明することができる。 3. かかりつけ歯科医療の役割について説明することができる。 4. 地域における保健・医療・福祉・介護の分野、他職種連携の必要性について説明することができる。 5. 社会における歯科医師会の役割を説明することができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医業についてネット等で調べて自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 205教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 イ 地域保健にかかる法規と制度 a 地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律  【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	鈴木 英明 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立
2026/10/07 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/10/07 (水) 1時限 09:30～11:00	社会歯科学からみた歯科医療	【授業の一般目標】 歯科医療学の発達史から未来の歯科医療について考察する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科医療学の未来について考察することができる。 3. 歯科医療の新たな展開について考察することができる。	北原 信也 * 内田 貴之 * 卯田 昭夫 * 下坂 典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
B	社会歯科学からみた歯科医療	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学修項目：審美歯科について学修する。</li> <li>・事前学修時間：15分</li> <li>・事後学修項目：講義ノートに教科書の該当項目を照らし合わせて、必要項目をノートに追加記載する。</li> <li>・事後学修時間：20分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし。 学修媒体：配付資料、講義ノート。</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>205教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療（インフォームド・コンセント、セカンドオピニオンなど）</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。</p>	北原 信也 *内田 貴之 *卯田 昭夫 *下坂 典立
2026/10/14 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/10/14 (水) 1時限 09:30～11:00 B	卒業後の多彩な選択肢①（東京女子医科大学 歯科口腔外科教授 古賀陽子先生）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>医科大学における口腔外科の役割について理解する。 担当講師は東京女子医科大学 歯科口腔外科教授 古賀陽子先生（松戸歯学部卒業生）。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門職者の態度育成</li> <li>2. 専門職者の認知理解の育成</li> <li>3. 多職種認知理解の育成</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修：なし 事前学修時間：なし 事後学修：講義で得られた情報を整理する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：講義資料配布</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>205教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ク 口腔・顎顔面の機能障害</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (10) 口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 ①口腔・顎顔面領域の慢性の痛みの原因、症状及び治療法を説明できる。 ⑥口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断及び治療法を列挙できる。</p>	*下坂 典立 *有川 量崇
2026/10/21 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/10/21 (水) 1時限 09:30～11:00 B	卒業後の多彩な選択肢②（ルカデンタルクリニック 院長小林瑠美先生） 「未来の設計図を描いてみよう！」	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科学学生として、自らの将来を考えるために、ビジョンマップの作成、明確な目標設定方法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己分析を通して、なりたい将来の自分の姿を設定する。</li> <li>2. 人生の設計図を描く。</li> <li>3. 長期的目標設定、短期的目標設定の習慣を身につける。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：なし。</li> <li>・準備学修時間：なし。</li> <li>・事後学修項目：講義で得られた情報を整理する。</li> <li>・事後学修時間：45分。</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし。 学修媒体：配付資料、講義ノート。</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p>	*下坂 典立 *内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/21 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/10/21 (水) 1時限 09:30～11:00 B	卒業後の多彩な選択肢② (ルカデンタルクリニック 院長小林瑠美先生) 「未来の設計図を描いてみよう！」	<p>【場所 (教室/実習室)】 205教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障 オ 地域の保健・医療 g かかりつけ歯科医機能</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-7 社会における医療の実践 A-7-1) 地域医療への貢献 ⑦地域医療に積極的に参加・貢献する。</p>	*下坂 典立 *内田 貴之
2026/10/28 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/10/28 (水) 1時限 09:30～11:00 B	卒業後の多彩な選択肢③一自由診療の目指すものー (田北デンタルクリニック院長 田北行広先生)	<p>【授業の一般目標】 世界の歯科医療を見聞し、研修を積むことから得られた歯科医師のあり方を学ぶ。担当講師は千代田区紀尾井町で田北デンタルクリニック開業、田北行広先生 (松戸歯学部卒業)。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の知識格差をうまない社会について 2. 健康長寿における栄養の大切さを学ぶ 3. 保険診療と自費診療について 4. 予防歯科の実現によるむし歯ゼロ社会について</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：なし ・準備学修時間：なし ・事後学修項目：学習した内容について、自己の考えをまとめる。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 205教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉 エ 成人保健、成人歯科保健 d 成人歯科保健活動</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 ③医療サービスの特殊性 (情報の非対称性・医療の不確実性) や治療の限界を説明できる。 ⑤患者に最も適した歯科医療を勧めるとともに、代替する他の方法についても説明できる。</p>	*下坂 典立 *有川 量崇
2026/11/04 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/11/04 (水) 1時限 09:30～11:00 B	卒業後の多彩な選択肢④一地域医療での歯科医師の役割りー (我孫子市長 星野順一郎先生)	<p>【授業の一般目標】 地域医療における公衆衛生としての歯科医療と、それを実施するための計画づくり及び実践を学ぶ。担当講師は我孫子市長 星野 順一郎先生 (松戸歯学部卒業)。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 地域医療における公衆衛生としての歯科医療について理解する。 2. 多職種連携 特に介護分野における多職種連携について理解する。 3. 地方自治体での保健福祉医療の計画づくりを理解する。 4. 三師会の中の歯科医師会について理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修：なし</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし：事前に資料をClass roomにアップする場合がありますので、授業前に確認を行うこと。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 205教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 e 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度</p>	*下坂 典立 *内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/04 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/11/04 (水) 1時限 09:30～11:00 B	卒業後の多彩な選択肢④ -地域医療での歯科医師の役割りー (我孫子市長 星野順一郎先生)	①保健・医療施策を説明できる。 ②医療保険制度と医療経済(国民医療費)を説明できる。 ⑧地域における保健・医療・福祉・介護の連携(地域包括ケアシステム)を説明できる。	*下坂 典立 *内田 貴之
2026/11/11 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/11/11 (水) 1時限 09:30～11:00 B	歯牙と人類学	【授業の一般目標】 歯から推測可能な人類の生活様式の歴史について理解する。  【行動目標(SBOs)】 1. 歯の咬合状態から生活様式を推測する。 2. 歯の咬耗状態から生活様式を推測する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 歯に関わる歴史的な風習等を自身で調べ学修する ・準備学修時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 205教室  【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文・科学・芸術・時事問題などに関連する一般教養的知識や考え方  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ①歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ③遺伝的な歯の形成異常を説明できる。 E-3-2 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患(tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む)の病因と病態を説明できる。	中山 光子
2026/11/18 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/11/18 (水) 1時限 09:30～11:00 B	薬害について考える。	【授業の一般目標】 医療や医薬品に関連した健康被害について知り、国民の健康管理、医療安全、薬害防止に対する医療者の役割を認識する。  【行動目標(SBOs)】 1. 医療や医薬品のリスクを認識し、患者を守る責任と義務を自覚する。 2. 医療に関する代表的な医療過誤やインシデントの事例を列挙することができる。 3. 医療に起因した健康被害について、その原因と防止策を説明できる。 4. 代表的な薬害例について、その原因と社会的背景およびその後の対応を説明できる。 5. 代表的な薬害例について、患者や家族の苦痛を理解し、これらを回避するための手段を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 薬害について自身で調べ学修する。 準備学修時間: 45分。 事後学修媒体: 配布プリント、講義ノート。 事後学修時間: 60分。  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし。 学修媒体: 配布資料、講義ノート。  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 205教室  【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ケ 医薬品医療機器による健康被害 a 副作用・有害事象への対応(報告義務、治療、補償)  【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1 生涯学習への準備 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。	増山 ゆかり *卯田 昭夫 *下坂 典立
2026/11/25 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/11/25 (水) 1時限	国際保健・国際貢献	【授業の一般目標】 医療のグローバル化に伴い歯科医師による国際貢献がこれまで以上に求められている現状を踏まえた国際保健に関する内容を認識する。  【行動目標(SBOs)】	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
09:30～11:00 B	国際保健・国際貢献	<p>1. 国際協力について説明できる。 2. 持続可能な開発目標〈SDGs〉について説明できる。 3. パンデミックについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：国際保健について自身で調べ学修する。 準備学修時間：45分。 事後学修媒体：配布プリント、歯科医師国家試験過去問題。 事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし。 学修媒体：配布資料、歯科医師国家試験過去問題。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 205教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 5 国際保健 ア 国際保健 d 国際協力</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 5 国際保健 ア 国際保健 a 持続可能な開発目標〈SDGs〉 c パンデミック</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-7 社会における医療の実践 A-7-2) 国際医療への貢献 ③保健、医療に関する国際的課題について理解し、説明できる。 ⑤医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。</p>	*有川 量崇
2026/12/02（水） 1時限 09:30～11:00 A 2026/12/02（水） 1時限 09:30～11:00 B	国際社会における 歯科医療	<p>【授業の一般目標】 歯科医師の国際社会における活動を知り、グローバルに活躍できる歯科医師を目指す。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 海外における歯科医療の必要性について理解する。 3. 国際社会における歯科医師の活動内容を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医師の国際活動について学修する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：講義内容を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし。 学修媒体：配付資料、講義ノート。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 205教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 一般教養的事項 イ 医学・医療に関する人文・科学・芸術・時事問題などに関連する一般教養的知識や考え方</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-7 社会における医療の実践 A-7-2) 国際医療への貢献 ③保健、医療に関する国際的課題について理解し、説明できる。 ④日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ⑤医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。</p>	*伊藤 龍朗 *下坂 典立
2026/12/09（水） 1時限 09:30～11:00 A 2026/12/09（水） 1時限 09:30～11:00 B	医療倫理について考 える/歯科医師の 責務と裁量権(事 例検討)	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を進めるために倫理事例の検証法を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 医療と研究における倫理的問題を説明することができる。 2. 自己決定権を尊重した患者-医療者関係の在り方を説明することができる。 3. 臨床倫理に伴う葛藤ジレンマの考え方を説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：医療の不確実性事象について学修する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	辻 典明 *卯田 昭夫 *下坂 典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/09 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/12/09 (水) 1時限 09:30～11:00 B	医療倫理について考 える/歯科医師の 責務と裁量権(事 例検討)	有・グループディスカッションを行う。 学修媒体：配布資料、ディスカッション結果等。  【学修方略 (L S)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 205教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理 a 患者の人権と医療  【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ①患者の権利を説明できる。 ②患者の自己決定権を説明できる。 ③患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。	辻 典明 *卯田 昭夫 *下坂 典立
2026/12/16 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/12/16 (水) 1時限 09:30～11:00 B	歯科医師国家試験 に出る統計学①	【授業の一般目標】 歯科医師国家試験に出題されるスクリーニング検査について説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. スクリーニング検査について説明できる。 2. スクリーニング検査の有用性の指標について説明できる。 3. 敏感度、特異度について説明できる。 4. 陽性反応適中度、陰性反応適中度について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：SBOsについて図書や教科書を用いて確認する。  ・準備学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布  【学修方略 (L S)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 205教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 b スクリーニング検査  【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 歯科疾患の疫学 ②スクリーニング検査を説明できる。	*鈴木 到 *有川 量崇
2026/12/23 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/12/23 (水) 1時限 09:30～11:00 B	歯科医師国家試験 に出る統計学②	【授業の一般目標】 歯科を代表とする医療に必要な統計学について学ぶ。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯科の研究に必要な統計学について説明することができる。 3. 歯科に必要な統計手法について説明することができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：統計学の基礎について学修する。  ・準備学修時間：45分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし。 学修媒体：配付資料、講義ノート。  【学修方略 (L S)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 205教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 エ 臨床試験・治験と倫理 a 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針  【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ①生命科学の講義・実習で得た知識を、診療で経験した病態の解析に応用でき る。	*有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/23 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2026/12/23 (水) 1時限 09:30～11:00 B	歯科医師国家試験 に出る統計学②		*有川 量崇
2027/01/13 (水) 1時限 09:30～11:00 A 2027/01/13 (水) 1時限 09:30～11:00 B	平常試験 2 および 解説講義	<p>【授業の一般目標】 これまでの講義内容を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：今までの講義内容を理解する。 ・準備学修時間：2時間 ・事後学修項目：配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし。</p> <p>【学修方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 205教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理 a 患者の人権と医療</p>	平塚 浩一 *卯田 昭夫 *下坂 典立 *鈴木 正敏 *辻 理子 *古賀 悠太 戸邊 玖美子 福田 えり